

私のすすめるこの1冊

田爪 宏二 (教育学科 准教授)

『ワーキングメモリと学習指導—教師のための実践ガイド』

S. E. ギャザコール・T. P. アロウェイ(著), 湯澤正通・湯澤美紀(訳)

皆さんは「記憶力の良い人」と言うと、どのような人を想像するでしょうか。例えば、一度に沢山の事を覚えられる人、暗記が得意な人…、といったところでしょうか。従来の心理学では、人間の記憶には、今までの生活における学習を通して蓄積された長期記憶と、その時に必要な情報を短期間保持する(また、重要な情報を長期記憶に送る)短期記憶との2種類が考えられてきました。そして、記憶力の良し悪しは、主に短期記憶の「容量」、すなわちどれだけ多くの量を一度に記憶し、保持できるのかということの影響が大きいとされてきました。しかし近年では、短期記憶の理論を発展させ、本書のタイトルでもある「ワーキングメモリ(作業記憶)」という概念が注目されています。

ワーキングメモリとは、心理学者 Baddeley, A. D. が提唱した理論で、短期記憶で扱われる記憶の容量に加えて、記憶する情報の「内容」と「操作」とに焦点を当てています。まず、「内容」については、視覚的記憶に対応する視空間スケッチパッド、聴覚的記憶に対応する音韻ループという、情報の特性に応じた記憶のシステムが想定されています。つぎに、「操作」とは、必要な情報に注目したり、不要な情報を抑制したりして限られた記憶容量を効率的に使用することや、記憶した情報に操作を加える(例えば、「T9A2Z5U7」を覚え、さらに数字の大きい順、アルファベット順に並べて答える)といった能力で、それらを司り、情報処理の状態を管理する中央実行系というシステムが想定されています。例えば学習

の場面では、教科書や先生の話に注目し、重要な用語を選択して覚えたり、覚えた内容を応用して問題を解いたり…というように、ワーキングメモリに関わる作業が常に行われています。

本書では、このようなワーキングメモリの理論を判り易く解説するとともに、子どものワーキングメモリの能力の発達や個人差、それらと学習との関係や、それを踏まえた教師の教育的支援について述べられています。例えばワーキングメモリには個人差があり、7歳の時点でワーキングメモリの容量が11歳程度に高い児童もいれば、5歳程度に低い児童もいることや、先生の話聞いて理解すること(聴覚的記憶)は出来るのに、黒板に書かれた情報(視覚的記憶)の理解が困難であるなど、特定の分野だけに記憶の困難さを示してしまう児童、さらには「注意散漫」と注意されやすい児童といった、学習場面における子どもの様々な特性とワーキングメモリとの関係が指摘されています。

教職を目指す学生の皆さんにとって、本書は子どもの特性や教育の在り方を記憶という点から考えるという、新たな視点になることと思いますので、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

なお、本書の続刊「ワーキングメモリと発達障害」では、近年の学校教育における大きなトピックである子どもの発達障害の問題とワーキングメモリとの関係が取り上げられています。こちらもあわせてお奨めします。

図書館からのお知らせ

講習会のお知らせ (時間など、詳しい情報はホームページやチラシをチェックしてね！)

4月から開催中。
5月・6月も、まだまだ
あるよ！
ぜひご参加ください！

図書館では今年度も、さまざまな講習会を開催しています。知って損はありません。

区分	講習会名	内容	実施期間	授業	レベル
本	OPAC 図書・応用編	いろいろな資料の探し方	5月20～23日		★★
論	OPAC 雑誌編	雑誌の検索と館内での探し方	5月13～16日	●●	★
論	CiNii 基礎編	国内論文の検索と閲覧	5月13～16日	●●	★
論	CiNii 応用編	CiNii を賢く便利に使う	5月20～23日	●	★★
館	他大学図書館の利用法	本学にない資料を利用するには	5月20～23日	●	★
論	エブスコディスカバリーサービス	さまざまなデータベースを一括検索する	5月27～30日	●	★★
館	国会図書館の利用法	日本最大の図書館を活用する	5月27～30日		★★
論	オープンアクセス論文	無料で読める論文を知る、検索する	5月27～30日		★★
論	EBSCOhost	海外論文を検索する	6月3～6日		★★★
論	ScienceDirect, Springer	海外論文を検索する	6月3～6日		★★★
集	文献管理編	集めた論文を管理する	6月3～6日		★★★

区分：「館」＝図書館利用 「本」＝図書の検索 「論」＝雑誌論文の検索 「集」＝資料管理

授業：●＝基礎セミナーで指導。学部1回生は図書館ガイダンスの日程を確認してください。先に予習しておくもよし。

本学で初めて学ぶ院生、編入生などにおすすめです。学部2～4回生もおさらいしたい方はぜひどうぞ。

●＝ゼミ単位のガイダンスでの基本指導内容。実施予定があるかどうか、指導教員に確認してください。

レベル：★＝初級 ★★＝中級 ★★★＝上級 ただし、あくまで参考程度です。必要な分野は専門により違いますので、自分に必要と思うものを選んで受講してください。迷う場合は、指導教員や図書館員にご相談ください。

EDS (エブスコディスカバリーサービス) の特別講習会を実施します

EDS(エブスコディスカバリーサービス)ってなに？

4月より導入した、世界中のさまざまな文献を検索できるサービスです。京都教育大学が契約しているデータベースの他、インターネット上に公開されている論文なども検索して本文にたどりつくこともできる、研究者にとってとても便利なデータベースです。

このEDSを運営しているEBSCO(エブスコ)社より講師を招いて、下記のとおり講習会を開催いたします。外部から講師を呼べる機会はなかなかありませんので、みなさまふるってご参加ください！

日時：5月21日(水) 12:30～13:15
場所：附属図書館北館2階 ラーニングコモンズ
対象者：本学学生、教職員
申込：所属・氏名を明記の上、メールにて申込。
当日参加も可能。
library@kyokyo-u.ac.jp 担当：角野



オーダーメイド講習会は 随時受付中です！

図書館活用法を覚えて効率よく 資料を探しませんか？

オーダーメイド講習会なら、日時・場所・内容、すべて相談に応じます。すでに10名の先生方にお申し込みいただいております。学生さんのみのグループでも受付可能ですのでぜひご検討ください。

企画展示・イベント案内

告知

第3回 写真展 小さな花と実 本学名誉教授 土倉亮一先生

好評につき、第3回を開催する事となりました！今も、「小さな花と実」に心を寄せて、採取・撮影を続けられている土倉先生の写真展です。

この展覧会をきっかけに、気づかなかった世界の発見があるかもしれません。ぜひご覧ください！

日時：平成26年5月27日(火)～6月30日(月)

※休館日を除く 9:00～17:00

場所：附属図書館北館1階 企画展示室 ※入場無料。



終了しました

第18回 教科書展 中等教育用教科書（音楽科編）

平成26年3月31日(月)から4月30日(水)にかけて、第18回教科書展を開催し、期間中は約650名の方々にお越しいただきました。今回は中等教育用教科書（音楽科編）と題し、戦後の音楽教科書の他、いろいろな楽器にふれあえて試奏できるコーナーも設けました。また、4月12日(土)のふれあい伏見フェスタでは、音楽科教員による「楽器ふれあいツアー」を開催し、訪れた方々は初めて聞く音、懐かしい音を楽しまれている様子でした。なお、今回の展示にあたり、本学音楽科教員の皆様には多大なるご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。



たくさんのご来館ありがとうございました！

図書館リクエストウィークを開催します！

(学内者のみ申込可能)

平成26年5月14日(水)～5月27日(火)の間、冊数・内容・金額等にかかわらずどんな本でもリクエストすることができます。ぜひこの機会にお申し込みください♪

※リクエストされたすべての本を購入できるわけではありません。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

平成26年4月4日(金)の入学式終了後、保護者の方101名にご見学いただき、4月12日(土)の「ふれあい伏見フェスタ」では90名が来館されました。また、新入生必修科目の基礎セミナーでも11専攻の見学が予定されています。

えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、
5月19日(月) 15:00～ です。

『あおくときいろちゃん』

レオ・レオーニ作；藤田圭雄 訳

★おすすめポイント★

丸くちぎっただけの色紙なのに、本当に生きて、動いているように見えます。形のおもしろさ、美しさがお話の中に十分に生かされています。緑色になることについて知ったあとのパパやママの行動にも注目です。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。



今月の絵本カードはこちら！

「知的障害特別支援学校における自閉症生徒の社会性の育ち」

早川 透

京都教育大学紀要. 2013, No.123, pp.87-101

人は生まれた時から、この世界を人と共に生きるために必要なことを人を介して学び、膨大な力を身につけながら成長・発達していきます。ところが、自閉症児は発達初期から母親(養育者)との間に関係が育ちにくく、他者に依存することが苦手で、孤立した世界を生きはじめます。その為、人を介していろいろなことを学び身につけていくことも遅れます。

自閉症児教育は、環境調整によって苦手な対人関係を極力介さずに効果的に知識や技能を獲得させようとするアプローチや、対人関係スキルの形成を目指すトレーニングが盛んです。しかし、周囲の人との豊かなかかわり合いの中で彼らの社会性は育つと信じて、時間をかけて丁寧にかかわることこそが重要と考えます。

この論文では、一人の生徒が中学部3年間の学校生活の中で育つ様子をエピソードで示し、社会性や対人関係がどのように育まれるのか、そこにはどのような要因・条件がはたらくのかを検討しました。彼は教師を安定基地とし、三項関係的な場で道具の使い方や協力の仕方、友達とのかかわり方を学び身につけていき、自信を持ってできることが増え、周りの人たちに認められたり、喜ばれたりする経験を重ねていきました。その結果、自分の価値を友達や教師・集団との関係の中に見出し、自ら進んで他者の役に立つこと、喜ばれることを行うようになりました。これらの育ちの原動力は、彼のこだわりともいえる成功への意欲であり、それを根底で支え、方向づけたのは、教師や友人との関係と考えられました。

本校では、学校は子どもたちが生活の中で発達する場と考えて教育実践を重ねています。その中で自閉症児が、教師や友達と豊かにかかわり合いながら様々なことを学び、身につけた力を生活の中で使いながら育っています。ぜひご一読いただき、本校の参観にもお越しく下さい。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 123号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2014年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2014年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

6/1 創立記念日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.164 (2014年5月号)

発行日:平成26年5月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp